

# 大阪城

2022

6/20  
(月)

14270  
号

全港  
西成分館

2447  
6647-  
4947

沖繩は梅雨が明けようだ。日本列島は南北に細長だから、大阪は7/20ころだから、一ヶ月は雨の心配は残る。水をよく飲んで

熱中症に気をつけてる。空気がなってきた。いる。

アルミ缶が30円ほど下って、2キロ210円ほどになっている。

世界の大局では、中国のアルミ生産がふえたのと、自製車が半導体不足でつくれな<sup>(あまり)</sup>いので、自製車にはうアルミがいら<sup>(あまり)</sup>ないことが原因とが言っている。自製車でアルミを集める人は多<sup>(あまり)</sup>い。アルミで世界をつな

っている。社会の中心核である経済はインフレ、物価高。おさえるための金利を上げて、冷まそうとしているが、

日本だけがゼロ金利を続け、アベノミクスを止められない。そんな国の存在感はなく、未来の参謀性もないので、円は下り、30円代になり、1ドル150円に下ると予想されている。円安は輸入する時、不利で、

物価をさらにさ<sup>(あまり)</sup>るくし、インフレを大きくしている。

国家としての基本の経済陣営が行動づまってきた。いる。明治以来のやり方があまり機能しない

環境、条件に変化してきたものだらう。

選挙、参謀、選挙の参謀。勝負も動いていく。けいど、ゆれとこして、深く、永く考之、日々追求し、都て、く流ゆが、変えていくのだらう。

西成労働福祉センター「センターだより」より

5月の地域求人 数	対前月増減比	対前年同月増減比
現金(日払い) 12555	-5.7%	25.3%
契約(延べ数) 12857	9.2%	31.5%
高齢者清掃ほか 4875	-7.3%	0.5%

5月求人  
 去年の最悪期  
 よりましに

「コロナ明け」という言葉が時々聞かれるようになってきているのですが政府なり医師会なりの公式機関がいつているわけではないようで「各自自己判断でというようなことみたいです。」

センターでの求人状況ですが、コロナの緊急事態がでていた昨年度から比較すると、統計の数字では「持ち直しているようにみえます」が、あまりにも基礎数が小さいので喜んでいられるものではありません。

特に日雇いの現金求人は対前月比の落ち込みが大きく端境期の影響が見られます。その分「契約求人」の伸び率が大きく、「この時期は飯場にはいつてしのぐ」という典型的なパターンとなつていようです。

朝の寄り場、常連の仲間がつとつて仕事の心配しています。あと一カ月くらい厳しいとおもいます。

**長期化する  
 ウクライナ戦争  
 世界的広がる  
 経済的混乱。**

ロシアの侵攻による戦争が4カ月。停戦の見込みもなく問題を深刻化させながら永続化していきそうです。2度の世界大戦で懲りてはるはずの欧州がなぜに3度目の悲劇にすすむのか？理解のとどこかないところがあります。